

とりで利根川河川まつり



☎ 水とみどりの課 ☎ 内線 1534

日時 **10月2日**(日) 9:00 ~ 15:00 ※小雨決行
会場 取手緑地運動公園 (利根川河川敷)

■園路広場

利根川交流物産展 (千葉県印西市、千葉県香取市)、自転車体験会、風車工作体験、スタンプラリー、緑化コーナー (緑の募金、花鉢配布、撮影スポット) など



■緑地運動公園駐車場前船着場

小堀の渡し無料乗船、河川巡視船「はるかぜ」体験乗船、遊覧船乗船 (計5隻)
※約15分ごとに船が出航します。

同時開催! 市民ウォーク



☎ 取手市歩こう会 ☎ 日野 ☎ 090-1808-5196

時間 8:50 ~ (7:30 受付開始)
費用 市内在住...300円、市外...400円 ※中学生以下無料
◎小学生以下は保護者同伴、介助が必要な方は介助者同伴

持ち物 飲み物、雨具

申込 直接: 河川まつり会場内市民ウォーク受付で

◆コース (スタート・ゴールは全て取手緑地運動公園)

3km コース	長禅寺~取手駅東口~取手簡易裁判所~八坂神社
5km コース	かたらいの郷までを往復
10km コース	とりかん (都市計画道路 3・4・3 号上新町環状線) 周回

※ 3km コース・5km コースは団体で歩行。10km コースは各自で歩行。

市民大学東京大学 EMP 特別講座

「ウイルスは役に立つ
ーワクチン開発と、新たながん治療法の開発ー」

☎ 生涯学習課 ☎ 内線 2063

ウイルスと人類はずっと共存してきました。新しいウイルスが出てきたときは相手をよく知ることが重要です。また、ウイルスは、致死性感染症の防御や新しいがん治療法の開発に役立つ強い味方にもなります。この講座ではウイルスの有効性を紹介します。

日時 11月10日(木) 13:00 ~ 15:00 (開場12:00)
会場 取手ウェルネスプラザ
講師 甲斐知恵子氏 (東京大学名誉教授)
定員 200人 ※多数は抽選。市内在住・在勤・在学の方優先
費用 無料



申込 ▶郵送: 往復はがき往信面に講座名、代表者を含む3人までの氏名(ふりがな)、代表者の住所、申込者全員の電話番号を、返信面にご自身の宛先を明記の上、〒300-1592 藤代700 生涯学習課「市民大学東京大学EMP特別講座『ウイルスは役に立つ ーワクチン開発と、新たながん治療法の開発ー』」係宛て

▶専用申込フォームから
※一度の申し込みで3人まで応募可

締切 10月14日(金) 必着



貴重な化石と出合える 移動博物館

☎ 六郷公民館 ☎ 83-1472

ミュージアムパーク茨城県自然博物館に所蔵されている貴重な化石や野生生物標本を六郷公民館に展示します。子どもから大人まで楽しめる自然史資料をご覧ください。入場は無料です。



日時 10月1日(土) ~ 4日(火) 10:00 ~ 16:00
会場 六郷公民館
展示 恐竜の骨格標本レプリカ、実物化石、岩石標本、鳥類剥製標本、哺乳類剥製標本など

井野台 道路工事を行います

☎ 道路建設課 ☎ 内線 1283

以下の工事を予定しています。期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

期間 10月上旬~令和5年1月下旬(予定)
時間 9:00 ~ 17:00
場所 井野台地内 (右地図参照)
規制内容 片側交互通行



◎作業内容によっては、夜間工事や全面通行止めとなる場合があります。

市長

Mayor's column

コラム

埋蔵文化財センターへ足を運びませんか



取手市長

藤井信吾

埋蔵文化財センター(吉田)は、平成11年9月2日に開館し、今年で開館23周年を迎えました。現在、第50回企画展「目で見てふりかえる取手」を10月2日まで開催しています。

今回の企画展は、絵図・地図・古写真・絵はがき・絵画などの視覚に訴える資料により、江戸時代から明治、大正、昭和、平成を経て現在に至る取手の移り変わりを紹介するものです。とりわけ鉄道が開通してからの発展が著しいのが感じられるかと思えます。

私自身が特に印象に残った展示資料は昭和30年代の初めに取手町と取手観光協会が発行した「取手乃案内」です。この資料の表紙には、千葉県側から眺めた取手の町が描かれています。ここには、取手の町は深い森の中にあ

るように描かれています。

はたして本当に取手の町はこのように見えたのでしょうか。企画展では、江戸時代から平成に至るさまざまな絵画や写真を基に「絵はデフォルメされているものの、取手の町は緑深い森と共にあった」と結論付けています。確かに、商業ビルやマンションが建ち並び現在もその片鱗として自然が残っており、私たちは自然と共生しているのだとの認識を新たにしたところです。

また、企画展には、今年5月まで取手駅西口のバス乗り場前の柱に括り付けられていた駅前案内看板が展示してあります。この看板は、手書きで昭和60年に開業した取手とうきゅうと、昭和61年に撤退した西友が同時に書かれている貴重なもので、実際に

37年間街中に掲示されていました。看板に書かれた事業所や商店の多くは移転したり、または名称が変わったりして、往時を知る人には懐かしくもあり、また見る人に世の移ろいを感じさせる資料です。

さて、現在、取手駅西口は区画整理事業が進展し、大きく姿を変えていく途上にあります。未来に向けてのより良い街づくりが大いに期待されているところです。一方で、消えゆく建物、道路、看板などは、前述の案内看板のように、そこで暮らしていた人、立ち寄った人々の大切な記憶遺産でもあります。市では、それらを写真や映像としてしっかりと保存(アーカイブ)し、後の時代に引き継いでまいります。ご理解・ご協力に感謝申し上げます。